

締切ギリギリに飛び込んできたニュースを記事に入れるために、他の記事の末尾の方が犠牲になることがあると聞いて驚いた。また、そのためにも記事の冒頭から結論や要点を書くということが大切だそうで、制作者目線でないと思い浮かばないようなことを教えてもらえて嬉しかった。

結論から書くななんて、ネタバレアンチの私からするとそんなのが法度だろ！！と一瞬声をあげたくなかったが、同じ「物書きの仕事」でも、取り扱う内容が全く違う記者と作者の仕事が全く違うのはそりゃそうだと思い直した。

今まで何となくで新聞を作成していたが、論理的な構成や掲載事項の優先順位、レイアウトを知って新聞を作成しやすくなった。それだけでなく、新聞という媒体が他のマスメディアとどう違い、どんなメリットがあるのかも再認識することができたため、これからこのことを思い出しながら新聞を読んでいきたい。

新聞記事に載せる写真の撮り方や
新聞のグラフや記事の構成方法を
学びました。

新聞のレイアウトとその理由や記事に映える写真の撮り方など新聞を書く人の工夫がわかり自分が普段触れているものの裏側をしれた気がして面白かった。

見出しはとにかくインパクトが大事だからワードセンスが必要なのかなと思っていたけど、結果を見出しにする事でどうしてその結果になるんだろうと興味を持って読んでくれると言う事がわかった。

普段あまり自ら読むことのない新聞でも、どんな記事でも必ず読んでもらうための工夫がされており、それでも時には5分ほどで記事を作るという話を聞いて衝撃を受けた。本物の新聞記者と同じような本格的な新聞の説明に、新聞記者という職業への興味がほんの少しだけ湧いた。

うちの家は新聞をとっていましたが
これまでは新聞紙をどう書くかとい
う意識をむけながら見たことは
なかったけどこれからは意識しな
がら見ていくと新聞紙の奥深いと
ころまで感じることができるので
はないかと思いました。

新聞についてどのような意図で書いているのかや、より良いものにする為の工夫、写真の撮り方までも説明して下って今まで持っていなかった視点でこれから新聞やそれ以外の文章であっても見れると思います。